

# JIS

## 手動ガス溶接器，切断器及び加熱器

㊦ JIS B 6801 : 2003

(JWES)

(2008 確認)

平成 15 年 8 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 溶接技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 田 隆 司	名古屋大学
(委員)	藍 田 勲	株式会社神戸製鋼所
	牛 尾 誠 夫	大阪大学
	岡 實	財団法人日本海事協会
	小 俣 和 夫	三井造船株式会社
	恩 澤 忠 男	東京工業大学
	塚 本 進	独立行政法人物質・材料研究機構
	中 根 豊	株式会社ダイヘン溶接メトロカンパニー
	林 央	社団法人日本アルミニウム協会
	福 永 規	住友金属工業株式会社
	堀 川 浩 甫	大阪大学名誉教授
	山 田 桑太郎	社団法人日本鉄道車輛工業会
	横 野 泰 和	非破壊検査株式会社

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 26.2.23 改正：平成 15.8.20

官 報 公 示：平成 15.8.20

原 案 作 成 者：社団法人日本溶接協会

(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1 丁目 11 TEL 03-3257-1524)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：溶接技術専門委員会 (委員長 宮田 隆司)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

**JIS 規格ご利用者各位**

この規格票には、旧 JIS マーク表示制度による旧 JIS マーク(㊄)が付されており、これは、旧制度に基づき JIS マーク表示の対象として指定された品目であることを示しておりましたが、平成 20 年 10 月 1 日からは新 JIS マーク表示制度となり、指定品目制度は廃止されております。

平成 20 年 10 月 1 日

(財) 日本規格協会

白 紙

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本溶接協会(JWES)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 6801:1991** 及び **JIS B 6802:1991** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 5172:1995, Manual blowpipes for welding, cutting and heating—Specifications and tests** を基礎として用いた。

# 目 次

	ページ
序文 .....	1
1. 適用範囲 .....	1
2. 引用規格 .....	1
3. 定義 .....	2
4. 種類 .....	3
4.1 溶接器 .....	3
4.2 切断器 .....	3
4.3 加熱器 .....	4
4.4 両用器 .....	4
5. 名称 .....	5
5.1 溶接器 .....	5
5.2 切断器 .....	6
5.3 加熱器 .....	6
5.4 両用器 .....	7
6. 寸法 .....	8
6.1 ホース継手台 .....	8
6.2 トーチヘッド .....	8
6.3 火口 .....	10
7. バルブ .....	10
8. 材料 .....	10
9. 試験方法及び合格条件 .....	11
9.1 試験方法 .....	11
9.2 外観・寸法試験 .....	11
9.3 気密性試験 .....	11
9.4 炎の調整試験 .....	11
9.5 ガス流量試験 .....	12
9.6 持続性逆火試験 .....	12
9.7 風に対する安定性試験 .....	19
9.8 逆流試験 .....	19
9.9 切断試験 .....	21
10. 製品の呼び方 .....	21
11. 表示 .....	21
12. 取扱説明書 .....	21
附属書 A (参考) 定義 .....	32
附属書 B (参考) 溶接器, 切断器, 加熱器及び両用器の名称 .....	34

附属書 C (参考) JIS と対比する国際規格との対比表 .....	36
解 説 .....	38

白 紙





## 手動ガス溶接器，切断器及び加熱器

## Manual blowpipes for welding, cutting and heating

序文 この規格は，1995年に第1版として発行された ISO 5172:1995, Manual blowpipes for welding, cutting and heating—Specifications and tests を翻訳し，技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。今回の改正は，JIS B 6802，手動ガス切断器を統合するとともに，新たに手動ガス加熱器を追加した。

なお，この規格で点線の下線を施してある箇所は，国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて，附属書 C（参考）に示す。

1. 適用範囲 この規格は，使用最大流量が表 1（表 1 に記載されていない燃料ガスにあつては，発熱量が 134 400 kJ/h（32 000 kcal/h）以下の燃料ガス）に示すアセチレンガス若しくは液化石油ガス（以下，LPG という。）又はこれらと同等の加熱効果をもつガスを燃料ガスとし，酸素と混合して金属の溶接，切断及び加熱に用いる手動のガス溶接器，ガス切断器及びガス加熱器（以下，溶接器，切断器，加熱器という。）について規定する。

表 1 使用最大流量

燃料ガス名	記号	使用最大流量 (l/h)
アセチレン	A	2 500
プロパン	P	1 500
ブタン		1 200
天然ガス，メタン	M	4 000
水素	H	13 000
エチレン	E	2 200

備考 この規格の対応国際規格を，次に示す。

なお，対応の程度を表す記号は，ISO/IEC Guide 21 に基づき，IDT（一致している），MOD（修正している），NEQ（同等でない）とする。

ISO 5172:1995 Manual blowpipes for welding, cutting and heating—Specifications and tests (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は，この規格に引用されることによって，この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで，発行年度を付記してあるものは，記載の年だけがこの規格を構成するものであつて，その後の改正版・追補は適用しない。発行年を付記していない引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0205-1 一般用メートルねじ—第 1 部：基準山形

JIS B 0205-4 一般用メートルねじ—第 4 部：基準寸法

JIS B 0209-2 一般用メートルねじ—公差—第 2 部：一般用おねじ及びめねじの許容限界寸法—中（はめあい区分）